

受験番号	
------	--

※記入漏れ注意

群馬パース大学 看護実践教育センター
認定看護師教育課程 摂食・嚥下障害看護分野
2020 年度受講者選抜試験

【 専 門 科 目 】

※ 注 意 事 項

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 受験番号を必ず問題用紙表紙上部の欄に記入すること。
3. マークシートには「氏名」を記入し、「番号」に受験番号を記入・マークすること。正しく記入・マークされていない場合は採点できないことがあるので注意すること。氏名・番号・解答記入欄以外の欄には記入しないこと。
4. 解答は、マークシートの解答記入欄にマークすること。解答方法は、選択肢のうち質問に最も適した選択肢を1つ解答記入欄にマークすること。

例えば、

1

の問いに対して解答する場合は、**解答番号1**の**解答記入欄**にマークすること。

解答番号	解 答 記 入 欄
1	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

(例) ③と解答する場合

5. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及びマークシートの汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題用紙の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離さないこと。
7. 試験終了後、問題用紙・マークシートは回収する。

以上

問1 平成29(2017)年の衛生の主要指標の組み合わせで正しいのはどれか。

1

- ① 合計特殊出生率 — 1.43
- ② 総人口 — 1億3700万人
- ③ 女性の平均寿命 — 89.26歳
- ④ 老年人口割合 — 25.7%

問2 看護理論家とその業績の組み合わせで誤っているのはどれか。

2

- ① ウィーデンバック — 『臨床看護の本質』
- ② ロイ — 適応看護理論
- ③ ヘンダーソン — 『看護の基本となるもの』
- ④ キング — ケアリング

問3 高次脳機能障害について正しいのはどれか。

3

- ① 注意障害(覚醒)はぼんやりとし行動の中断がある。
- ② 指示されれば行動できる。
- ③ 観念失行は模倣しても行動できない。
- ④ 観念運動失行は模倣すれば行動できる。

問4 75歳女性。右利き。左中大脳動脈領域に脳梗塞を発症し、約3か月が経過した。次の高次脳機能障害のうち、テーブルに準備された食事を摂る際に、最も影響するのはどれか。

4

- ① 注意障害
- ② 記憶障害
- ③ 病態失認
- ④ 左半側空間無視

問5 保健師助産師看護師法の特定行為にあたらないのはどれか。

5

- ① 人工呼吸器からの離脱
- ② 橈骨動脈ラインの確保
- ③ 創部ドレーンの抜去
- ④ 嚥下内視鏡の実施

問6 エンパワメントと最も関連があるのはどれか。

6

- ① 健康格差
- ② フレイル
- ③ 自己決定
- ④ 成年後見制度

問7 開口に関わる筋はどれか。

7

- ① 咬筋
- ② 側頭筋
- ③ 内側翼突筋
- ④ 舌骨上筋群

問8 アルツハイマー病で一般に初期から中期に見られない症状はどれか。

8

- ① 失語
- ② 注意障害
- ③ 歩行障害
- ④ 見当識障害

問9 摂食嚥下に関する評価の説明で誤っているのはどれか。

9

- ① 頸部聴診法はおもに咽頭相における嚥下障害を判定する方法である。
- ② 咳テストは不顕性誤嚥のスクリーニングに有用である。
- ③ 摂食状態のレベル（藤島ほか）1～3は経口摂取のみである。
- ④ 臨床的重症度分類で機会誤嚥以下のレベルで誤嚥が疑わしい。

問10 口唇の感覚を司る神経はどれか。

10

- ① 顔面神経
- ② 三叉神経
- ③ 舌下神経
- ④ 舌咽神経

問 11 6 歳臼歯はどれか。

11

- ① 第 1 小臼歯
- ② 第 2 小臼歯
- ③ 第 1 大臼歯
- ④ 第 2 大臼歯

問 12 脳血管障害のうち頻度が最も高いのはどれか。

12

- ① 脳出血
- ② 脳梗塞
- ③ 硬膜下血腫
- ④ くも膜下出血

問 13 思考や感情のまとまりがなくなり、幻覚や妄想、感情の平板化や意欲の欠如をきたす精神疾患はどれか。

13

- ① うつ病
- ② 適応障害
- ③ 双極性障害
- ④ 統合失調症

問 14 舌下腺の分泌を司る神経はどれか。

14

- ① 三叉神経
- ② 顔面神経
- ③ 舌下神経
- ④ 舌咽神経

問 15 摂食嚥下リハビリテーションにおけるチーム医療に最も適したチーム形態はどれか。

15

- ① マルチディシプリナリー・チーム
- ② トランスディシプリナリー・チーム
- ③ インターディシプリナリー・チーム

問 16 小児の摂食嚥下について誤っているのはどれか。

16

- ① 経口摂取準備期は原始反射の残存が問題となる。
- ② 捕食機能獲得期は下唇を内転し舌尖を固定する動きがみられる。
- ③ 押しつぶし機能獲得期は口角が左右対称に水平に動く。
- ④ すりつぶし期は頬と口唇の動きの協調がみられる。

問 17 頭頸部がんについて誤っているのはどれか。

17

- ① がんの組織型は扁平上皮癌が多い。
- ② 口腔がんはたばこ関連癌である。
- ③ 喉頭がんは予後不良である。
- ④ 舌がんは男性に多い。

問 18 閉口に関わる筋はどれか。

18

- ① 頬筋
- ② 口輪筋
- ③ 内側翼突筋
- ④ 舌骨上筋群

問 19 パーキンソン症状を最も生じにくい疾患はどれか。

19

- ① 脳梗塞
- ② 多系統萎縮症
- ③ レビー小体型認知症
- ④ 筋萎縮性側索硬化症

問 20 口唇の運動を司る神経はどれか。

20

- ① 顔面神経
- ② 三叉神経
- ③ 舌下神経
- ④ 舌咽神経

問 21 嚥下 5 期モデルについて誤っているのはどれか。

21

- ① 準備期の食塊形成ではそのまとめられたものは液体であっても捕食という。
- ② 口腔期で喉頭は舌骨に近接し上前方に引き上げられる。
- ③ 咽頭期初期では軟口蓋は挙上したままの状態を保つ。
- ④ 食道期に食塊がすべて食道に送り込まれると声帯は開大、食道入口部は閉鎖する。

問 22 資質の向上のために保健師、助産師、看護師及び准看護師が務めなければならないと保健師助産師看護師法で規定されているのはどれか。

22

- ① 臨床研修の受講
- ② 生涯学習の継続
- ③ 研究活動
- ④ 看護技術の研鑽

問 23 少ない食事量による便秘が該当するのはどれか。

23

- ① 器質性便秘
- ② 弛緩性便秘
- ③ けいれん性便秘
- ④ 直腸性便秘

問 24 介護保険による第 2 号被保険者はどれか。

24

- ① 20 歳以上の医療保険加入者
- ② 40 歳以上 65 歳未満の医療保険加入者
- ③ 65 歳以上の者
- ④ 介護保険法で定める特定疾病患者

問 25 リスボン宣言で採択されたのはどれか。

25

- ① プライマリーヘルスケア
- ② ヘルスプロモーション
- ③ 自己決定の権利
- ④ 説明と同意

問 26 栄養について誤っているのはどれか。

26

- ① フレイルを引き起こす要因にサルコペニアと低栄養があげられる。
- ② 2010 年診療報酬改定では NST サポートチーム加算が新設された。
- ③ 腸が機能している場合は経腸栄養を選択することを基本とする。
- ④ 消化能に障害がない場合は半消化態・消化態栄養剤よりも成分栄養を使用する。

問 27 歯周ポケットの清掃に適しているブラッシング法はどれか。

27

- ① ローリング法
- ② スクラブ法
- ③ フォーンズ法
- ④ バス法

問 28 65 歳男性。右利き。約 2 年前から歩行時のふらつきを自覚し、徐々に転ぶことが多くなつたため来院し、脳の画像検査で小脳萎縮を指摘された。この男性に今後みられる可能性が最も低い症状はどれか。

28

- ① 眼振
- ② 片麻痺
- ③ 嚥下障害
- ④ 構音障害

問 29 頭頸部がんに含まれないのはどれか。

29

- ① 涙腺がん
- ② 副鼻腔がん
- ③ 耳下腺がん
- ④ 甲状腺がん

問 30 歯の感覚を伝える神経はどれか。

30

- ① 三叉神経
- ② 顔面神経
- ③ 舌咽神経
- ④ 迷走神経

問 31 一番初めに萌出する歯はどれか。

31

- ① 上顎乳切歯
- ② 上顎乳臼歯
- ③ 下顎乳切歯
- ④ 下顎乳臼歯

問 32 気管切開を選択する理由について誤っているのはどれか。

32

- ① 上気道狭窄
- ② 補助換気
- ③ 誤嚥予防
- ④ 気道分泌物の吸痰

問 33 食道について誤っているのはどれか。

33

- ① 粘膜上皮は単層円柱上皮である。
- ② 筋層は一部横紋筋である。
- ③ 3ヵ所で狭窄している。
- ④ 第6頸椎の高さで咽頭から移行する。

問 34 脳性麻痺の病型のうち頻度が最も高いのはどれか。

34

- ① 強直型
- ② 失調型
- ③ 痙直型
- ④ アテトーゼ型

問 35 高血圧性脳出血を生じる部位のうち頻度が最も高いのはどれか。

35

- ① 橋
- ② 小脳
- ③ 海馬
- ④ 被殻

問 36 ギラン・バレー症候群には見られるが、重症筋無力症には見られない症状はどれか。

36

- ① 筋力低下
- ② 嚥下障害
- ③ 呼吸障害
- ④ 感覚障害

問 37 神経筋疾患について誤っているのはどれか。

37

- ① 筋萎縮性側索硬化症は舌の弛緩を生じる。
- ② 筋強直性ジストロフィーは呼吸障害を生じる。
- ③ パーキンソン病は筋固縮や運動障害を生じる。
- ④ シャイドレーガー症候群は自律神経障害を生じる。

問 38 リハビリテーションの組み合わせで誤っているのはどれか。

38

- ① ICIDH（国際障害分類）－ 機能障害，筋力低下，社会的不利の 3 層分類
- ② ICF（国際生活機能分類）－ 機能構造，活動，参加，環境因子，個人因子
- ③ 過負荷の法則 － 20%以上の負荷をかける
- ④ MMT（従手筋力テスト）－ 手首，肩関節，股関節，足関節等の筋力

問 39 舌の感覚に関係しないのはどれか。

39

- ① 迷走神経
- ② 三叉神経
- ③ 舌下神経
- ④ 舌咽神経

問 40 改訂水飲みテスト（MWST）で正しいのはどれか。

40

- ① 冷水 3ml を口腔前庭に注ぐ。
- ② 実施後，最高点を評価とする。
- ③ 評価点が 4 点以上なら最大 2 回施行を繰り返す。
- ④ 嚥下後，反復嚥下を 1 回行わせる。